

長崎ブランド構築プロジェクト費

【ながさきPR戦略課 予算額22,824千円】

事業の目的

○国内外から選ばれる「新しい長崎県」の実現に向け、ブランディング及び情報発信戦略を策定し、総体的なイメージ向上につながる「長崎ブランド」を構築

事業の概要

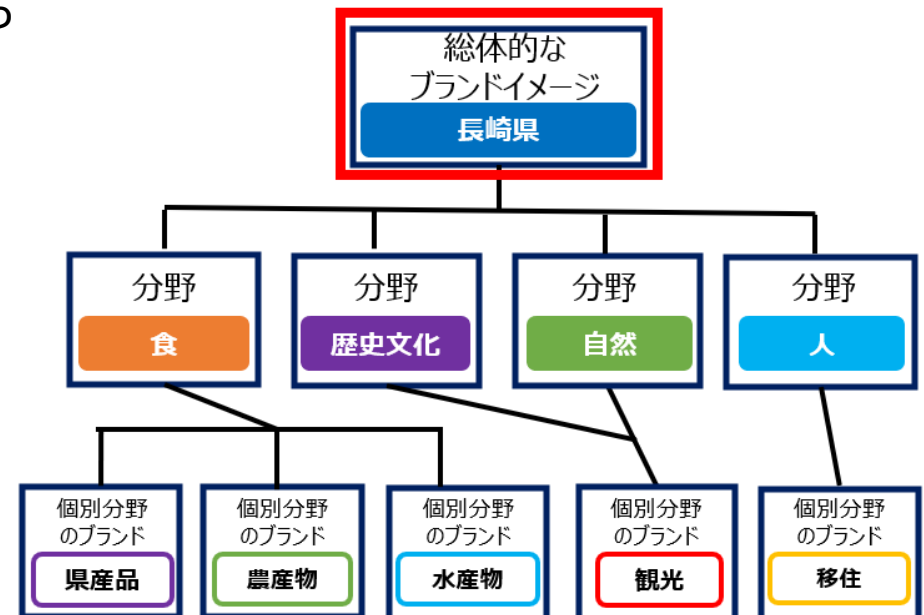
ブランディング・情報発信戦略の策定

○市町や関係団体によるブランド検討会議や有識者で構成するブランド検討懇話会等での検討を踏まえたブランディング及び情報発信戦略の策定

「長崎ブランド」の構築

○県全体で統一的なブランディングを行うため、県民等への情報発信や県職員向け研修を実施

長崎県のブランド（イメージ）



(新)マニアが集う長崎プロジェクト費

【文化振興・世界遺産課、観光振興課、物産ブランド推進課 予算額57,294千円】

事業の目的

○県内各地にアニメ・小説や酒などの聖地・拠点を創出し、国内外の多くのマニアの誘客を図ることで、地域の魅力を再認識し、地域を誇りに思い、地域を自慢する(シビックプライドの醸成)



アニメ・小説



酒

事業の概要

先行取組コンテンツ

◆アニメ分野

(新規)聖地巡礼ツアー、ファン交流イベントの開催

(新規)アニメ&まんが聖地EXPOへの出展

◆小説分野

(継続)県内外での書店フェアの開催等

◆酒分野

(継続)全国酒マニア向け動画配信

(継続)コンテンツを活かしたロケ誘致、誘客促進

(新) デジタルノマド受入推進事業費

事業の目的

【地域づくり推進課 予算額27,915千円】

○デジタルノマド誘致のため本県のプロモーション・受け入れ基盤づくりを推進

事業の概要

ITを活用して様々な場所を
転々としながら働く人々

モニターツアー

- ・デジタルノマドに長崎県を体験してもらう
- ・地域の方にデジタルノマドを知ってもらう
- ・長崎県をデジタルノマドへ発信してもらう

地域プレイヤー向け勉強会

- ・デジタルノマドについて宿泊事業者等向け勉強会
- ・デジタルノマドって何？地域に何をもたらすの？

海外プロモーション

- ・ノマドイベントへ参加してPR
- ・滞在地として選ばれる長崎県へ

ハブ人材・コミュニティマネージャー育成

- ・デジタルノマド受け入れの中核人材育成
- ・現地窓口、コーディネーターとして活躍

(新)日本遺産「国境の島」認定10周年記念事業費

事業の目的

【文化振興・世界遺産課 予算額9,337千円】

- 日本遺産「国境の島」認定10周年を契機に、講演会開催や周遊イベント、情報発信等を4市町(対馬市、壱岐市、五島市、新上五島町)と連携して実施し、更なる認知度向上や誘客を促進

事業の概要

日本遺産「国境の島」認定10周年事業

- 日本遺産「国境の島」至極の旅創出事業
 - ・日本遺産の構成文化財やその他の観光スポット、食、自然景観等を周遊できる旅行商品の造成
- 日本遺産「国境の島」ナビゲーター育成
 - ・日本遺産「国境の島」の魅力をストーリーとして継続的に伝え、再来訪や新しい顧客獲得につなげることのできる人材の育成
- 周遊イベント
 - ・日本遺産の構成文化財を周遊できるクイズラリーを実施
- 情報発信、メディアキャラバン 等



(新)長崎県インフラツーリズム推進事業費

事業の目的

【建設企画課 予算額5,946千円】

○県内のインフラ施設を観光資源として発掘・整備し、地域の独自性を活かした魅力ある観光コンテンツとして活用するため、官民による推進体制を構築するとともに、モデル地区におけるモニターツアーを実施

事業の概要

インフラツーリズム拡大検討業務委託

委託内容

- 地域主体の運営体制構築を目的としたセミナー・ワークショップの開催
- 本県ならではの視点で県内インフラ施設の活用可能性を追求し、モニターツアーの実施先を選定



(新)長崎県FIT誘客インバウンド推進事業費

【国際観光振興室 予算額84,614千円】

事業の目的

- 宿泊施設、飲食店、観光施設等のOTAへの登録推進などを行うとともに、海外OTAサイトを活用して、本県の観光や飲食等の情報発信を行い、インバウンド誘客を拡大
- 対象:東アジア4か国・地域(中国、韓国、香港、台湾)

事業の概要

(1)OTAなどへの県内宿泊施設等の登録促進

- 海外大手OTA等への登録促進に向けた説明会・セミナーの開催

(2)プロモーション用特集記事制作

- 海外大手OTA等で掲載する本県の魅力を発信する特集記事の制作
(韓国語・簡体字・繁体字・英語の4言語)

(3)OTA・SNS等各種広告掲出

- 閑散期等、誘客したい時期を見据え、戦略的にOTA・SNS等に広告を掲載し、(2)のプロモーション特集記事へ誘導

(4)多言語パンフレットの制作・現地セールス

- Webサイト等への公開や更新が可能なデジタルパンフレットを制作
- 中国、韓国、香港、台湾への積極的なセールス等を実施



(新)国際路線就航・利用促進プロジェクト事業費

事業の目的

【国際観光振興室 予算額 27,882千円】

- 長崎空港開港50周年を契機とした、官民連携による既存路線利用拡大等の取組を実施

事業の概要

○ パスポート取得支援

新たにパスポートを取得・更新し、長崎空港の国際線を利用する県民に対してパスポートの取得にかかる費用を補助

・補助上限額:10,900円／人

○ 空港利用促進PR等

長崎空港開港50周年を契機とした、国際航空路線の利用促進に向けたPRを実施



国際交流関係連携強化事業費 (新)周年記念事業費

【国際課 予算額10,489千円】

【国際課 予算額22,242千円】

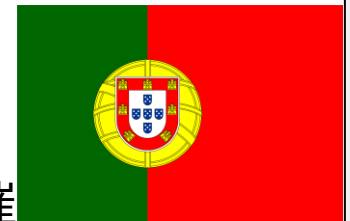
事業の目的

- 新たな国・地域との交流関係構築に向けた取組を推進
- 中華人民共和国駐長崎総領事館開設40周年を記念して、訪問団を派遣し、本県と中国における人脈等の関係強化並びに一層の交流を促進

事業の概要

ポルトガルとの年次会議の開催

- ・時期:未定
- ・内容:ポルトガルとのMOUに基づく年次会議及びレセプション等を開催



中華人民共和国駐長崎総領事館開設40周年記念行事の開催

- ・時期:未定
- ・内容:中華人民共和国駐長崎総領事館開設40周年を記念して訪問団派遣や祝賀行事等を実施



長崎県平和発信事業費

事業の目的

【国際課 予算額38,413千円】

○被爆80年の節目の年に被爆地から世界に向けた平和発信を促進するとともに、次代を担う平和人材育成や地域・世代を超えた平和教育に取り組むことにより平和意識を醸成

事業の概要

(新)被爆80年事業補助金

- ・被爆80年の節目の年に国や市民社会に対して影響力のある人達などに向けた発信や次世代の平和人材育成などに資するイベント等に要する経費を支援
- ・補助額:1,000千円 ※最大2,500千円

(新)JET地域国際化塾による平和教育

- ・JET青年が被爆体験講話などを通じて被爆の実相を学ぶことで「長崎を最後の被爆地に」という思いを世界に発信

NPT準備委員会への参加

- ・時期:令和7年4月下旬～5月上旬頃
- ・場所:ニューヨーク(アメリカ)
- ・準備委員会への参加による、世界に向けた平和発信

核兵器廃絶長崎連絡協議会負担金等

- ・ナガサキ・ユース代表団の育成、核兵器廃絶市民講座の開催 等



(新)長崎・食の賑わい創出プロジェクト費

【農産加工流通課 予算額57,523千円】

事業の目的

- 県民や観光客など誰もが本県の食を買って味わえる「食の賑わいの場」の創出に向け、食の賑わいの試行・実証のほか、食に関わる人たちの共創の場づくりや食に係る魅力の発信を実施

事業の概要

食の賑わい拠点の「あるべき姿」の実証

- 県民や観光客に対し、食を通じて地域や食材の価値、生産者の思いが伝わる食体験を提供する場の試行・実証
(取組例) 宿泊施設などと連携した朝市での朝食の提供 など

魅力的な食体験を提供する人材の共創の場づくり

- 料理人や生産者など食に関わる人々がつながりをつくる交流の場の創出

長崎ならではの食文化の魅力発信

- 観光客の本県の食に対する理解や県民の地域の食文化への理解と誇りの醸成を目的とした、食文化等の情報発信



長崎県産品海外プロモーション事業費

事業の目的

【物産ブランド推進課 予算額6,436千円】

○インバウンド等のターゲット国(香港・台湾・韓国)における県産品の認知度向上を図るため、現地百貨店や飲食店等を活用した販売促進プロモーションを実施

事業の概要

長崎フェア実施

- 台湾及び香港における百貨店等での県産品フェアの開催
インフルエンサーを招聘し、効果的な情報発信を実施することで現地消費者にアプローチ
- 韓国における飲食店での県産品フェアの開催
インフルエンサーを招聘し、効果的な情報発信を実施することで現地消費者にアプローチ



長崎県の知名度向上や県産品のブランド化、販路拡大へとつなげる



長崎産水産物海外マーケット拡大事業費

事業の目的

【水産加工流通課 予算額 68,583千円】

○海外での長崎産水産物のPRや新たな輸出販路の開拓を推進し、将来性のある海外の水産物マーケットの規模拡大を図る

事業の概要

水産物市場の広域開拓の推進

- 香港・韓国・タイを対象とした輸出促進の取組を展開
 - ・現地プロモーションによる販路開拓・拡大
 - ・産地招へいによるPR

長崎産養殖クロマグロ海外販路開拓

- 生産量日本一を誇る本県産養殖クロマグロの新たな海外販路開拓を推進（想定地域）
 - ・シンガポール ・ベトナム ・マレーシア 等

中国輸入再開にかかる販促PR

- 中国におけるシェア回復に向け、現地での販促プロモーション等を展開
 - ・「長崎鮮魚」20周年プロモーション及び取扱店舗におけるフェアの開催
 - ・国際展示商談会への出展



「長崎鮮魚」現地PR

マグロ解体ショーによる現地PR

(新)ながおしデジタルマーケティング活用推進事業費

【物産ブランド推進課 予算額49,978千円】

事業の目的

○県産品のブランド化に向けて、「ながおし」のデジタルマーケティングによって明確になった長崎ファンへ、これまで取り組んできた認知拡大だけでなく、さらに行動変容(購買)を起こすきっかけとなる新しいプラットフォームを構築し、長崎ファンの拡大・定着を図る

事業の概要

○(継続)「ながおし」Webサイト・Instagramによる情報発信

【コンセプト】「美食と絶景の街、長崎。」

【ターゲット】東京・大阪・福岡等の都市在住の25～45歳の女性

【内 容】デジタルマーケティングをフル活用したInstagram・Webサイトによる「映え」る情報発信



+ Instagramで興味を持った長崎ファンをシームレスに購買行動へ誘導！

○(新規)「ながおし」ECプラットフォームの開設

【内容】

- ・大手ECモールに「ながおし」の世界観に基づくショップを開設
- ・販促キャンペーン等を実施しながら、デジタルマーケティングを行い、長崎ファンを拡大・定着



国民文化祭推進事業費

【ながさきピース文化祭課 予算額 764,579千円】

事業の目的

○本県における文化芸術の振興を図るため、県内市町や文化団体と連携し、国民文化祭及び全国障害者芸術・文化祭(ながさきピース文化祭2025)を開催

事業の概要

○ながさきピース文化祭2025にかかる取組

- ・開閉会式、プレイベント
- ・県、市町、文化団体等による各種文化芸術イベント(障害のある人の自立と社会参加の促進につながる事業を含む)
- ・広報、おもてなし活動
- ・県実行委員会運営 等

キャッチフレーズ

文化をみんなに

基本方針

歴史を紐解き、未来へ
つなぐ海外交流

文化芸術による
まちづくり

文化資源を活かした
観光の推進

若者や子ども達が
創り出す新しい文化と
ながさきの未来

文化芸術を通した
平和の継承

心のバリアフリー
の推進



ながさきピース
文化祭2025

モチーフは平和の象徴の「ハト」と、文化を育み未来へつなぐ「手」ブルーは、海外との文化の架け橋となった本県の海をイメージ

開会式

開催日

令和7年9月14日(日)

会場

アルカスSASEBO(佐世保市)

閉会式

開催日

令和7年11月30日(日)

会場

ベネックス長崎ブリックホール(長崎市)

(新)ツール・ド・九州開催事業費

事業の目的

【スポーツ振興課 予算額76,833千円】

○国際サイクルロードレース「ツール・ド・九州2025」佐世保ステージ(クリテリウム)を開催することで、県北地域の振興及び県内のサイクルツーリズムを推進

佐世保ステージの概要

○「ツール・ド・九州2025」佐世保ステージ(クリテリウム)

- ・開催日時:令和7年10月10日(金)
- ・開催場所:佐世保市中心市街地



※クリテリウム・・・短い距離の周回コースを使うロードレースの一形態
(走行距離:約45km)

令和7年度の実施

- レース当日・前後日におけるレース関連イベントの開催
- 情報発信やPRイベント、佐世保市内におけるシティドレッシング
- 2026大会の開催に向けた準備経費

(新)大阪・関西万博出展事業費 (新)大阪・関西万博を契機とした関西誘客プロモーション事業費

事業の目的

【ながさきPR戦略課 予算額35,000千円】

【観光振興課 予算額33,126千円】

○大阪・関西地区において、一体的かつ戦略的にプロモーションすることにより、本県の認知度向上及び誘客や消費の拡大を図る

事業の概要

大阪・関西万博出展事業費 35,000千円



○万博で九州7県合同催事を開催

・「九州の宝を世界へ ～Treasure Island・KYUSHU～」の全体コンセプトのもと、観光・物産・食・自然環境・文化などの地域資源を企画展示や食の提供等を通じて、国内外からの来場者にPR

大阪・関西万博を契機とした関西誘客プロモーション事業費 33,126千円

○九州7県合同催事と連動した関西地区における本県単独の観光物産イベントの開催等

○富裕層向けツアーや個人旅行客に向けた県内周遊にかかる商品の造成

(新)西九州新幹線ネットワーク強化事業費 Hello!KAMOME新幹線開業効果拡大事業費

【新幹線対策課 予算額30,958千円】

【新幹線対策課 予算額17,150千円】

事業の目的

- 関西直通運行に向けた、新幹線効果の拡大を図る県外向け情報発信
- 安定的な利用者確保・新幹線開通による経済波及効果の拡大

事業の概要

情報発信強化



- ・新幹線を中心に変化していく長崎県の魅力発信
- ・新幹線効果について発信

県外発着こども等乗車会



- ・新幹線への乗車を含めた旅行商品造成
- ・普段は入れない新幹線車両基地見学等を検討中

気運醸成支援



新幹線効果拡大の気運醸成に資する経済団体等の取組を支援

経済波及効果拡大



- ・開業3周年イベントの開催
- ・こども向け乗車会
- ・修学旅行等における新幹線利用支援
- ・ふたつ星4047「長崎 - 佐世保間」実証運行



(新)スポーツで創る！賑わい・シビックプライド醸成事業費

【スポーツ振興課 予算額29,790千円】

事業の目的

○V・ファーレン長崎、長崎ヴェルカを活用し、県民のシビックプライド醸成や、地域の賑わい・交流の創出などを図る。また、スポーツ実施率向上に向けて、スポーツ体験イベントを実施

事業の概要

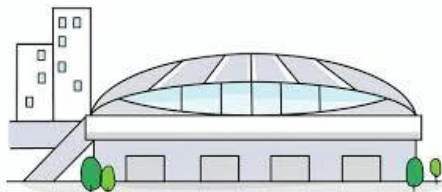
プロスポーツクラブが実施する取組に対する支援等

○V・ファーレン長崎及び長崎ヴェルカシビックプライド醸成事業補助金

補助率:1/2

補助対象:V・ファーレン長崎、長崎ヴェルカが実施するホームタウン活動経費等

○県民のスポーツ実施率向上に資する事業の実施



©n velca



©VVN

「みんなで磨く！観光まちづくり」推進事業費

事業の目的

【観光振興課 予算額 109,372千円】

- 交流人口・関係人口の拡大に向け、市町や観光関係団体等による観光まちづくりの取組を支援

事業の概要

1. 地域の魅力の磨き上げ

- ◆ 地域住民を主体とした市町や観光関係団体等による観光まちづくりの取組を、企画立案の段階から民間視点も取り入れながら支援

(1) 市町等への支援

- ・ 支援対象：市町、観光協会、まちづくり会社等
- ・ 上限額：10,000千円＜補助率1/2以内＞

(2) 専門人材による地域伴走型支援



2. 地域の魅力発信

- ◆ 観光まちづくりの取組や地域の魅力の情報発信を実施

魅力
づくり

地域主体のまちづくりを民間視点も取り入れ支援

発信

地域の魅力を県内外へ強力に発信

貢献

交流人口の拡大や人口減少対策への貢献